

社内募金（「朝日の月」醸金）の寄付について

朝日生命保険相互会社（社長 木村 博紀）は、当社および関連会社役職員等による募金（「朝日の月」醸金）を、社会福祉などの分野で活動する10団体へ各々53万円（総額530万円）寄付いたします。

「朝日の月」醸金は、1958年、当社の創立月である7月を「朝日の月」と定めたことをきっかけに「生命保険事業の社会公共性に鑑み、社会事業にいささかなりとも貢献していく」という趣旨のもとで開始し、今年で66回目の寄付となり、累計額は3億8,100万円に上っております。

当社は引き続き、当社の経営理念である「まごころの奉仕」のもと、様々な社会貢献活動を積極的に推進し、「社会の課題解決に貢献する会社、お客様の“生きる”を支え続ける会社」を目指してまいります。

<寄付団体の選定について>

- ・ SDGsの各目標（健康、シニア、障がい者支援、児童・子育て支援、環境問題など）の達成に向けて活動する団体を日本NPOセンター等の協力を得て選定し、活動内容等のヒアリングを行ったうえで寄付先候補団体を18団体に絞り込みました。
- ・ 寄付先候補団体の活動内容、醸金の活用方法等を社内イントラで公開し、全役職員の投票により寄付団体10団体を決定しました。
- ・ 寄付団体とは当社の醸金の活用について定期的に協議を実施しています。

以 上

| | |
|--------------|--|
| 貢献する主なSDGs目標 |      |
|--------------|--|

寄付団体一覧

| 団体名 (五十音順) | 活動内容 |
|---|--|
| 認定特定非営利活動法人 アトピzzi地球の子ネットワーク | アトピー・アレルギー性疾患のある患者とその家族を支援するため、ひとり親・貧困家庭へのアレルギー用粉ミルクやアレルギー対応食の提供、およびオンライン相談、学習会・ワークショップ等の活動を行っている。 |
| NPO 法人 子育てひろば全国連絡協議会 | 「ともに支える。こどもと家庭に寄り添う拠点をめざして」をキャッチフレーズに、全国7,900か所の地域子育て支援拠点において様々な課題を抱える乳幼児家庭を支援する実践者に対し、研修や情報提供、人材育成、ネットワークづくりを行っている。 |
| 認定 NPO 法人 J. POSH (日本乳がんピンクリボン運動) | 「乳がんで悲しむ人を一人でも少なく」との想いで、乳がん早期発見につながるブレストアウェアネスの啓発、患者さんやご家族のサポート、患者会やピンクリボン活動を行う団体などの支援を行っている。 |
| 一般財団法人 児童健全育成推進財団 「朝日生命伸びゆく子ども基金」 | 児童館活動の支援、児童文化向上のための活動などを幅広く行っている。「朝日生命伸びゆく子ども基金」は、それらの活動の一環として「野遊び・外遊び 実践プログラム」の支援を行っている。 |
| 認定特定非営利活動法人 全国こども食堂支援センター・むすびえ | こども食堂の支援を通じて、誰も取りこぼさない社会をつくることをビジョンに掲げ、その実現のため、各地域のこども食堂ネットワーク支援や、企業等の寄付・物資支援を通じたこども食堂の運営強化と認知拡大、全国唯一の箇所数調査など調査・研究の活動を行っている。 |
| 特定非営利活動法人 地球緑化センター | 「緑・人を育む」をテーマに、環境問題、農山村の過疎化などの社会の課題に対し、市民一人ひとりが自ら考え行動できるよう、自然や地域、人を結ぶボランティアプログラムを行っている。 |
| 特定非営利活動法人 難民を助ける会 | 国内外16カ国で紛争時や情勢不安時の緊急支援、難民支援、自然災害による被災者支援、地雷・不発弾対策、障がい者支援など、社会的に弱い立場におかれた方々への支援を行っている。 |
| 認定特定非営利活動法人 日本NPOセンター | 全国の民間非営利組織の基盤強化のため、ICT支援、研修・交流、NPOに関わる法制度への提言、企業や行政とのパートナーシップ構築などの事業を行っており、災害時にはそれらを活かした復興支援を行っている。 |
| 一般社団法人 日本介護支援専門員協会 | 全国の介護支援専門員のネットワークの構築や介護支援専門員の資質の向上、その地位の確立に関する活動を行っている。また、保健医療・福祉との連携や災害発生時の要援護者支援を行っている。 |
| 公益財団法人 認知症予防財団 | 認知症を心配している方や、介護に悩む家族を対象に無料の電話相談を運営。その他、シンポジウム開催、書籍発行などの認知症・介護に関する啓発活動を行っている。 |